

取組名	地域と連携した自転車通学路点検ワークショップ		
特徴	高等学校と市民団体うべ交通まちづくり市民会議（通称：うべこまち）と連携した自転車通学環境に関するワークショップ		
学校名	県立宇部工業高等学校	期日	平成30年11月29日（木）

1 ねらい

地域と学校が連携して、自転車通学路を実際に走行し通学路の状況を体験・観察して、問題点と改善策について話し合う。

2 概要

うべ交通まちづくり市民会議は2010年に設立された市民団体で、市民自らが行動変革を促す活動を実行することにより、地域の交通環境の改善を図ることを目的として、設立以来様々な活動に取り組まれている。

中でも「自転車まちづくり」活動は、市民が車に過度に依存せず、エコで健康的な自転車を安全・快適に利用できる環境整備を、持続可能な賑わいのあるまちづくりに欠かせない重要活動と位置付けて継続的に活動されている。

今回の活動内容は、本校生徒と市民団体が一緒に自転車で実際に通行し、得られた情報を基にワークショップを行い、専門家のアドバイスを受けながら通学路の危険箇所の点検、安全ルールや正しい走行方法などを確認し、全ての人が安全にルールを守れるようなまちづくり・道路づくりについて協議を行った。

次に、このワークショップに参加した生徒が、安全ルールやまちづくりについて、自ら考え感じたことを学内で発信・共有することにより、生徒全員の安全意識の向上と事故防止につなげていきたいと考えている。



通学路の確認



ワークショップの様子

実施時間：16:00～18:30

参加者：宇部工業高校生徒会役員
生徒会顧問
うべこまち関係者
山口大学工学部村上研究室
宇部市道路整備課

3 成果と今後の課題等

今回、生徒会役員が中心となって自転車通学路実走のワークショップを経験し、成果をとりまとめ（図）、今後全校集会（3月実施）で生徒会役員から発表する予定である。

全校集会で、生徒会役員の経験や理解を学校内で共有し生徒自らの交通安全の意識を高めていきたいと考えている。

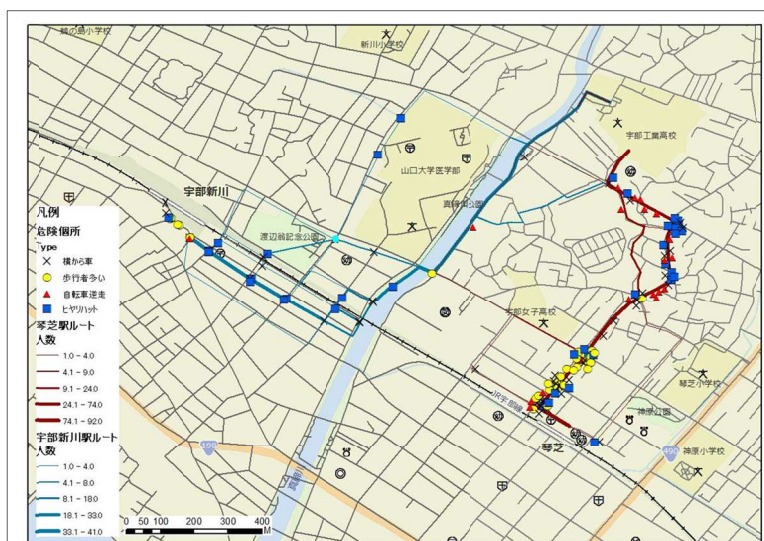


図-15 宇部新川駅・琴芝駅からの自転車通学ルートと危険箇所マップ

図 JR 駅利用生徒の危険箇所通学ルートマップ